

# 大会の 新聞記事

山陰中央新報 (2003.11.16掲載)



中国新聞 (2003.11.16掲載)



毎日新聞 (2003.11.16掲載)



産経新聞 (2003.11.16掲載)



読売新聞 (2003.11.16掲載)



竹島領土権確立  
島根県議会議員連盟会長  
細田 重雄

島根県議会議員連盟を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日のこの大会が本当に素晴らしい大会になりました。心からお慶びを申し上げます。また、この大会に十五の県議会から力強い、温かい激励の言葉を頂戴いたしました。島根県議会といたしましても、この十五の県議会とこれからも力を合わせて、領土権確立のために連携を層強めて頑張っていかなければならないと決意を新たにいたしました。

申すまでもなく竹島は我が国固有の領土であり、我が島根県の領土であることは疑う余地のない明白な事実であります。しかしながら、現状は大変不幸なことに半世紀にもわたって韓国政府に不法占拠され続けております。また近年、領土権確立の運動、これが沈滞、停滞気味であります。

このような時に県議会が、活を入れるためにも起爆剤になって頑張ろうという気持ちになりまして、私たちは昨年十月、五箇村村民をはじめとする隠岐島民の皆様熱い思いを自らの思いとして領土権確立を叫び続けております。地元県議の野津浩美さんを先頭に、超党派の議員により「竹島領土権確立島根県議会議員連盟」を設立し、本日のこの県民大会の開催や各種啓発活動の促進に先導的な役割を担わせていただいております。

また、島根県議会としても先ほど漁連の岸会長がおっしゃいますように、脆弱外交について国に対し、領土権の早期確立に向けて毅然と

した姿勢で臨まれるよう求める旨の意見書を全員で採択し、関係省庁を訪問し、強く要望をいたしたところであります。もとより、竹島問題は二百海里の漁業経済問題でありますし、国の根源である領土問題でもあります。このことから、この問題の解決は両国の真の友好を図るため避けて通れない課題であります。また、解決のためには全国的な国民世論の盛り上がりが必要であります。私たち県議会も本当の友好とは何なのか真剣に考えながら、今後両国間に多少の摩擦が起きるかもしれませんが、毅然たる態度で乗り越えて、皆様方と一緒に県民の悲願であります領土権確立に向けて機運を盛り上げていかなければならないと、誓いを新たにいたしているような次第でございます。

この大会を契機に県議会は、皆様方の先頭に立って頑張っていります。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

